

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

FAX 0551-25-6103

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



多機能型事業所『わ〜く穴山の里』 リニューアルしました

気持ちを新たに

社会福祉法人信和会 理事
多機能型事業所 『わ〜く穴山の里』 施設長
共同生活事業所 管理者

小泉 修



かねてより建設を進めておりました多機能型事業所「わ〜く穴山の里」及び併設する「共同生活事業所」がこの度完成し業務開始の運びとなりました。

社会福祉法人信和会の中・長期事業計画のなかで、「わ〜く穴山の里」の建替え計画が決定し、昨年2月より職員の思い・将来の構想・利用者さんの願いを取り入れ、具体的な活動スペースや外観デザインなど数十回にわたる関係者との打ち合わせを重ね図面に落とし込み、提案させて頂きました。その後、今年1月から既存建物を解体。3月から本格的に建築工事が始まり、このほど無事に竣工を行い、10月より活動再開となりました。新たなわ〜く穴山の里の建物は随所に最新の設備を施しております。特に作業場においては、置き床システム（乾式二重床）を施工し、一日を通し立ち作業による足への負担軽減できる床など、作業環境にも配慮したスペースの確保も行いました。また、食堂と作業室の間仕切りを開放することにより多目的スペースとして活用する事が出来ます。今後、地域の方々お子様からお年寄りまで、趣味・余暇活動の練習場所や展示発表の場として気軽に使って頂ければと思います。

さて、わ〜く穴山の里は、平成16年に知的障害者通所授産施設として開所し、平成18年法改正に伴い多機能型事業所「わ〜く穴山の里」に名称変更し、13年余りが過ぎました。現在、就労継続支援B型（定員20名）、生活介護（定員6名）利用登録者合計31名の方々のご自宅から送迎車や徒歩で利用されております。

活動内容としまして専任職員14名が支援を行っており、「生活介護」サービスでは、創作的活動・機能訓練の機会を提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を、更に自立の促進と社会参加の増進を支援しております。通常は「就労継続支援B型」の利用者様と一緒に作業をしますが、外部専門スタッフによる月1回の習字教室・月2回の蕪崎総合型スポーツを定期的に取り入れメリハリのある活動を目指しております。また、花壇・畑での野菜作りや外出など不定期の活動も積極的に活動しています。

「就労継続支援B型」サービスでは、生産活動などの機会の提供、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行っています。自施設製品の製造、販売をして就労収入を得ているのではなく、民間の企業様よりお仕事を頂いての受託作業（OEM相手先ブランド商品）の生産活動を中心に行っています。相手企業様次第で量産・減産となるリスクはありますが、ここ数年は安定した収入が得られています。

「わ〜く穴山の里」では作業活動をする上で『〇〇施設だから多少のことは良い、大丈夫・・・』では無いと考えています。一般企業と同様に、「商品の仕上り・品質・納期厳守」など真面目な取組みをすれば発注先企業様から良い評価を頂き、それが結果として潤沢な作業量の確保に繋がる事を職員は元より、利用者の皆さんにも伝えモチベーションアップに繋げています。特に私どもの施設の特徴は、作業活動をツールとして「挨拶・時間・相談・達成感・喜び」などを学び、身につけることを目的に支援活動をしています。利用者の皆さんは、毎日来所時の大きな声での挨拶から始まり、作業活動室入口へ、今日の自らの活動内容の確認のために、「作業活動確認ボード」を見て、配置場所・作業役割を確認し持ち場で準備し、全体朝礼で1日の流れ・予定を再確認してスタートします。また、1日の作業の終わりには各作業リーダー職員から今日の出来高の発表に利用者様の達成感や仕事の喜びを職員共に感じる光景を目にしますと私も明日に繋がるモチベーションを感じます。

もう一点。「わ〜く穴山の里」では「生きる力を身につける」をテーマに掲げてここ数年取り組んでおります。生きる力とは、親亡き後に地域社会で生きていくための力であり、働きながら生活できる力です。挨拶・身だしなみ・困ったときに相談できる等、基本的な力を身につけることが出来るように職員はテーマに向かい全力で利用者様への支援展開をしております。

また、併設しております共同生活事業所は、現在、蕪崎市及び北杜市に5棟計24名の方々地域で自立した生活が送れるように、専任職員と世話人13名を配置し、家事支援を受けながら自宅と同じ様な環境のもと、共同で生活する事が出来るように運営しています。

今後、障害者の方々も高齢化に伴い、支援のあり方も高齢化・重度化への対応も含め、新たなサービス展開も視野に新事業所での支援活動が期待できます。

新生「わ〜く穴山の里事業所・共同生活事業所」は従来通り、地域の中の社会資源であり障害を持つ方の地域社会参加の拠点となる場所であり続けます。

社会福祉法人信和会では、老人介護保険サービスから障害福祉サービスまで6事業所が展開され、地域の皆様方が信和会があつて良かったと思つて頂ける様、職員一同、基本理念である「接遇・感謝・向上」を旨に将来の構想に向かって真摯に向き合い支援展開をしたいと思っています。今後ともよろしくお願ひ致します。

本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp

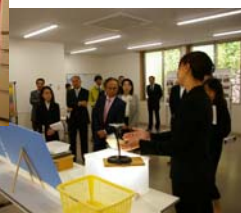


多機能型事業所「わ〜く穴山の里」 リニューアルオープン

9月23日待ち望んでいました多機能型事業所わ〜く穴山の里の竣工式を執り行いました。朝まで降り続いた雨も上がり澄みきった青空の下、韮崎市長様を始め竣工にご尽力頂きました関係各位にご参列頂き、開催できましたことを深く感謝申し上げます。



当日は神事後、小泉施設長、平賀サービス管理責任者が多機能型事業所での作業内容を説明させていただき、障がいをもった利用者が社会生活を営む上で必要な技能習得と地域社会との関わりなどを改めて理解して頂く事と今後、更なる御協力をお願い致しました。



祝賀会では社会福祉法人信和会創設者であります栗原信雄会長の発声で開宴し、ご来賓の皆様にご挨拶を頂き、ご挨拶の中で「この穴山町の、この地区が福祉の中心として発展していることを大変うれしく感じると共に社会福祉法人信和会が地域社会・社会福祉のリーダーとして活躍されていることに感謝申し上げます」というお言葉を頂戴致しました。大変うれしく、今後もより一層の精進を重ねなければと強く感じました。



今回の竣工に伴い、穴山の杜短期入所生活介護事業所と道路を挟むかたちとなり、両側のフェンスには地域の皆様を始め穴山町を訪れて頂ける皆様楽しんで頂けますよう絵画などの展示スペースを開設致しました。穴山の四季を始め、様々な絵画などを展示する予定です。また、展示を希望される方がいらっしゃいましたら信和会までご相談下さい。

今後も地域に寄り添った福祉サービスを提供できますよう職員一丸となって頑張ります。



研修会報告

★三年目フォローアップ研修会

2015年4月に採用致しました職員に対するフォローアップ研修会を実施致しました。

三年目を迎え仕事の大半が理解でき業務に従事していますが、後輩への指導力や各自の更なるスキルアップも望まれる時期です。

即題に対して短時間でまとめ発表するなど、プレゼン能力等にも取り組みました。



グループミーティング



プレゼンの様子

★第二回リーダー研修会



第二回目のリーダー研修会を開催致しました。今回は場所を市内の研修施設に移し、移動にかかる行動計画や情報収集、リーダーシップ論並びに法改正に伴う評価制度への取り組みで陥りやすいエラーなどについて研修を行いました。敢えて、三年目フォローアップと同様に3グループに分かれプレゼンテーション実習を行いました。はるかに短時間で内容の濃いプレゼンが展開され、リーダーとして資質の高さが窺えました。

穴山の里だより

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
Tel.0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



地域防災訓練

9月3日(日)
大規模災害発生時における初動対応について市内一斉に訓練を行い、関係機関の相互連携と住民の減災意識の高揚につなげることを目的とした「韮崎市総合防災訓練」に当施設利用者及び職員が参加しました。地域の消防団の方の指導のもと、災害時の対応方法を学んだり実際に放水活動を行うなどして、普段では体験できない事をさせて頂く貴重な1日となりました。防災について今回学ばせて頂いた知識を活かし、今後もしっかりとした取り組みを行っていききたいと思います。



穴山保育園運動会

9月7日(木) 穴山保育園の運動会に参加させていただきました。
園児さんたちの元気に競技に取り組む姿が眩しく、また、穴山の里の利用者さんと園児さんたちが共同で、大玉ころがしや玉入れ、障害物競走などを行う姿はどちらも楽しそうでした。
今年も良い体験になりました。
残念ながら穴山保育園は今年で閉園ということで、寂しい思いと共に、今まで交流会や運動会参加などを通し親密な関係を築いて頂いたことに心より感謝申し上げます。



健康診断

9月5日(火) 朝から秋の健康診断を受診しました。穴山の里の利用者さんと職員だけでなく、関連事業所の利用者さん・職員の計約120名が受診しました。
検診項目は身長・体重測定から胸部レントゲン・胃レントゲン・心電図・血液検査・視力聴力測定と多岐に渡りました。
今年もまだ採血を怖がる利用者さんも一部見受けられましたが、毎年2回ずつ受診しているため、利用者さんも少しずつ慣れてきています。



障害者文化展



8月31日～9月4日の期間に行われた「山梨県障害者文化展」に各班、クラブ、個人でたくさんの作品を応募し、見学へ行ってきました。

他施設の様々な工夫を凝らした作品や、手の掛かっている作品を皆で見て、「私もこれを作りたい！」等の声がありましたので、来年もまたこれを参考に取組んでいけたらと思います。

毎年、利用者様から個性的な作品や芸術性の高い作品が出されますが、今年は惜しくも審査員からの賞はいただけませんでした。でも、瓢箪クラブが出した作品が見事お客様の投票による「ふれあい賞」を頂く事が出来、表彰式にて表彰されました。



土用の丑の日

8月1日にみんなでウナギを食べました。みんな大好きな大きなウナギをたくさん食べ夏にばてることなく楽しく過ごす事が出来ました。ウナギは夏のイメージでしたが旬は冬の時期なんて知りませんでした。

流しそうめん大会

8月17日毎年恒例の「流しそうめん大会」を行いました。

そうめんだけではなく千切りにしたきゅうりも流して食べました。とても美味しかったです。去年は途中雨が降ってしまいましたが、今年は天気に恵まれ楽しい会になりました。来年はなにを流すか楽しみです。



かかし祭り

8月6日(日) 「円野町かかし祭り」が開催され、穴山の里も今年初めて参加をさせて頂きました。案山子製作では、信和会ふれあい夏祭りの準備とも重なり大変な面もありましたが、穴山の里職員全体で協力をした結果、無事に搬入期日までに間に合わせる事が出来ました。また、かかし祭りという地域の行事に参加させて頂き地域貢献が出来たことは穴山の里にとっても喜ばしいことでした。今後も地域の一人として、様々な地域行事に積極的に参加・取組んで参りたいと思います。



穴山の杜だより

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



最近見かけなくなりました、秋の七草のひとつ“オミナエシ（女郎花）”。一昔前にはこの時期になると他の七草を含めて目にすることがありましたが、山が荒れてきて生育する環境がなくなってしまうのか気がかりです。ここ数年この地域で注目されているのが彼岸花です。初秋のこの時期に真っ赤な花をつけることで大変目立ちます。施設周辺に植えられた彼岸花が元気に花を咲かせています。また、この地域で活躍している“緑と大地の会”が中心となって、穴山の杜入居者の関係者から大量にいただいた彼岸花の球根の植栽を推進してくれています。やがてこの地域が鮮やかな色どりに包まれる時期が訪れるでしょう。

UTYニュースの星で放映されました!



今年、施設で進めているEQ(こころの知能指数)を活用したリーダー教育が注目され、このたびテレビ放映(8月23日 UTY)されました。

EQとは、IQ(知能指数)の対極の感情指数を活用した人材育成を目的とした手法です。HRDサポート代表の樋口しのぶ先生の講師のもと、1年の長丁場の研修を行っています。それぞれのリーダーが学ぶことの大切さを実感しています。この研修を受講したリーダーの感想を紹介します。

〈EQ研修を受講しての感想〉

リーダー同士が集まっての研修は良かったと思いました。行動特性検査を受け、自分の感情的に悪い部分・苦手部分はわかっていたが、そのまま結果に表れ「やっぱり」と感じたと同時に、表情や行動をより意識するようになりました。また、リーダーとしての行動や言動にも注意し責任を持つこと、施設の方針、向かう方向=ユニットでの目指す方向性をしっかり職員に伝え教えることの大事さを再認識しました。

スケジュールの途中にリーダー研修で、課題や目標等を共有することで、新たな発見もあったかなと思いました。今後も研修を継続することで、少しずつでもまとまりのあるリーダー同士になり、強い組織になればと思います。自分自身も信頼されるリーダーを目指し仕事に向き合っていきたいと思います。

ひのき風呂導入 よい香りが広がります

入居者により快適な生活を送っていただく、介護活動の一環でひのき風呂を導入致しました。このひのき風呂導入にあたり、より楽しく入浴していただく為に、介護職員は数回の研修を行い実施にこぎつけました。従来の樹脂製の風呂と違い、ひのきの香りが気持ちを和ませてくれますので、家庭的な雰囲気の中でお風呂を楽しんでいただけます。



一名言から学ぶ

和顔愛語(わがんあいご)

【解釈】

穏やかな顔と優しい言葉で接すること

【心得】

相手の立場に立って、優しくサポートすること

感情的になって怒ったり、たしなめたりしないこと

職員は、毎日の業務引き継ぎ時にこの名言を斉唱して日常の業務の教訓としています。

秋号 トピックス



夕立が来ないか心配されていましたが、みなさんの日頃の良い行いのおかげでしょうか、お天気に恵まれ、綺麗な夜空も見られました！

地域ふれあい夏祭り

8月6日に開催された夏祭りには、37家族102名と多くのご家族が参加して下さいました。勤務の関係もあり、全員揃っての練習は出来ませんが、自主練習を重ね、本番を迎えました。平成チームは“恋ダンス”をカワルなスカートやサパンターなど可愛い衣装で難しいダンスを短期間で習得し披露、昭和チームは毎年披露させてもらっている“どっこいしょ”を踊りました。間違ったり、揃っていなかったりしましたが、利用者より「良かったよ、上手だった」とありがたいお言葉をいただきました。



間近で見る打ち上げ花火の迫力に「おお〜!!」と驚き、ご家族や職員と夏のひとつときを楽しみました。



祝 敬老の日

9月18日敬老の日に、お祝いご飯が提供されました。栗赤飯や天ぷら・メロンなどいつもより豪華なメニューに「たくさんあってお腹いっぱい。美味しかったよ」と喜んでいただけた様子。20日には穴山の里なかよし会の方々より、デコパージュ石鹸をプレゼントされ、嬉しいと涙ぐまれる利用者もいらっしゃいました。穴山の杜最高年齢(102歳)の方には千羽鶴が手渡され、立派なお祝いに驚かれています。これからも元気に過ごしましょう！



緑のカテンを作りました。今年は昨年よりも幅を拡げ、元気よく育ち、強い陽射しを和らげてくれました。苗の中には白瓜が混ざっていた様で、ゴツゴツのゴヤの中で、産毛の生えた白瓜がひっそりと育っていました。沢山実ったゴヤの実は美味しくいただきました。

～ お楽しみ ～



8月8日・9月12日 蕪崎市社会福祉協議会に所属の“ロバとうさぎの会”が来設されました。夏の思い出やりんごのひとりごとなど歌を楽しんだ後は、音楽に合わせてみんなで体操です！両手を挙げてブラブラ振ったり、じゃんけんをしたりと体がほぐれ、笑顔もこぼれます。また来月もお楽しみですね。

〈 言の葉研究会 〉

第40回を迎えた言の葉研究会。利用者・職員共に新しく句を出して下さいました。

- 出来ればもっと飲みたかったな
- 良かった昨日の祭り飲めたから
- 好きな歌も聞く気になって
- 食べ物も美味しくなって元気だよ
- 一二三一二三と体操をしようよ
- 動きの悪い体には
- 良かったことは風呂に入れた事
- 穏やかな一日でした変わりなく

少しですが、利用者の作品を(紹介)します！

ぶどう盆栽

岩下幸夫様ご夫婦より、今年も葡萄の盆栽を寄付して下さいました。宝石のような艶のある巨峰で、玄関にいい香りが広がり、「美味しそう、食べたくなっちゃうね」と喜ばれています。ありがとうございました！！



わ〜く 穴山の里だより

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866 fax 25-5869
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



仮作業所ではお世話になりました。



韮崎仮作業所にて

新しい建物で活動を再開しました！



新しくなったわ〜く穴山の里にて



多機能型事業所わ〜く穴山の里・共同生活事業事務所の建替え工事に伴い、本年1月から韮崎市若宮2丁目の仮作業所にて施設運営を行っておりましたが、新しい建物が完成し10月より元の穴山町の地で活動を再開しました。

仮作業所では利用者様や取引業者様などには何かとご不便をおかけしてしまいましたが、仮作業所の家主様をはじめ近隣地域の皆様方のご理解とご協力を賜り、無事に過ごすことが出来ました。

仮作業所での9ヶ月間は、利用者様にも職員にとりましても楽しい思い出と共に大変貴重な経験の場となっただけでなく、私どもの施設が地域の皆様によって支えられていることをあらためて感じさせていただく機会ともなりました。新しい建物となりましたわ〜く穴山の里でも、この感謝の気持ちを忘れることなく事業展開に取り組んで参ります。

どうぞよろしくお願い致します。

多機能型事業所「わ〜く穴山の里」竣工に際し、多くの皆様よりご寄付等を頂戴致しました。感謝申し上げます。

【寄付】（順不同・敬称略）

韮崎市・韮崎市社会福祉協議会・(株)ONTimeDesignOffice・伊藤紀元・長田幸夫・守屋 稔・河西久美・J A 梨北農協・アルプス事務機(有)・(株)ブレイン・(有)菊嶋食品・富士工器(株)・(株)小笠園・(株)協和洋行・アイパックスイケタニ(株)・(株)林製作所・藤原福子・伊藤恵美・金丸光太郎・牛山二美子・平賀 潤・小澤 清・足立一正・金山たみ子・仲二見金男・山梨県立わかば支援学校・山梨大学教育学部附属特別支援学校高等部

【祝電・生花等】（順不同・敬称略）

猪股直美・山梨中央銀行・アルプス事務機(有)・アイパックスイケタニ(株)・(株)いえプロ
内藤ハウス(株)・山梨中央銀行・(株)YSK e-com・(株)小笠園

穴山の杜ショート

穴山の杜 短期入所生活介護事業所
〒407-0263 韮崎市穴山町 4410-3
TEL : 0551-25-0800



オカリナ演奏会



8月7日中田町オカリナクラブの皆様が慰問に来ました。オカリナ演奏と一緒に利用者様もマラカス・カスタネット・タンバリンなどの楽器を持ち、『青い山脈』、『りんごの歌』、『武田節』を合奏しました。オカリナの素晴らしい音色と共にとっても楽しい一時となりました。



敬老の日

9月20日敬老のお祝いに穴山の里なかよし会の皆さんが訪問して下さいました。『ふるさと』と一緒に合唱し、手作りのデコパージュ石鹸をプレゼントして頂きました。

“いつまでもお元気で!!”



防災避難訓練

今回は厨房からの出火をした事を想定し、東側非常口より外へ避難をしました。

これから、寒い時期を迎え暖房機器の使用が始まります。

安心して安全に過ごせるようにこれからも細心の注意を払います。



さくらだより

相談事業所 さくら
〒407-0263 韮崎市穴山町 4914-1
TEL : 0551-45-7710



「相談支援事業」において、配置される相談支援専門員の要件としては、実務経験以外に初任者研修修了以降、5年ごとに現任研修を修了することとあります。

私は本年度3回目の受講をしました。初回はまだこの事業が始まる前であったこともあり、講義そのものも空中遊泳気分で終えたことを覚えています。そして2回目、相談員2年目の私は、グループ演習で事例発表することとなりましたが、経験も浅く、スーパーバイザーとの意見交換に四苦八苦。これまた歯切れの悪い研修となりました。

そして今回こそはと臨んだ3回目。しかし前回の事例検討とは異なり、「同じ相談員に対するピア・スーパービジョンの展開法」についての学びでした。「SV=スーパービジョン」とは、ソーシャルワーカーとしての成長を目的に、まず話題提供者である相談員の話を傾聴し、助言やヒント・アイデア出しを行い、相談員自らが気づけるように進める手法です。そして「自らも日々研鑽し、成長していくこと」「相手に小さい自分を求める必要は無い」「一本とって気持ちよくならぬように!」という言葉は、負けん気の強い私には響いた言葉でした。

現在『さくら』は一人相談員のため、相談相手は地域のあらゆる職種の方々となります。様々な意見を吸収し、新たな気づきを得ることこそが自らの成長にもつながることと捉え、これからも地域に飛び出していこうと思います。

感謝録

(平成29年6月16日から平成29年9月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

柴 薦文・冬頭修二・伴野公亮・上野恵利子・深沢淑子・川崎武志・岡野功治・古内保明・伊藤正大・岩下幸夫・細田太満美・山梨日化サービス・山梨歯科専門学校・アルプス事務機(有)・新日本空調(株)・

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

千野公洋(太鼓)・阿部光雄(歌謡)・島津泰子・長坂泰子・島津公子・細窪房美・嶋津良子・森岡節子・西山千代子・堀井敬子(歌謡協力)・田中康子(絵画指導)・足立悦子(ピアノ演奏)・輿水稔(演舞指導)・中澤正文(夏祭り)・飯野祐子(習字講師)・ロバとうさぎの会・愛宕町教会・清水まり子・韮崎スポーツクラブ(金丸・牛山・平賀)

☆施設見学(敬称略)

◎梶田一男 ◎緑と大地の会
◎新宿区小学校校長会 10名

訪問録

(平成29年6月16日から平成29年9月15日)

☆教育実習(敬称略)

◎優和福祉専門学校
秋山裕貴、香月由加里
◎山梨学院大学
林 智海、山寺真樹、飯室怜央
◎日本大学 根岸卓巳
◎山梨学院短期大学
松本萌依、河野亜紀、松田久瑠実
◎帝京学園短期大学
井手秋穂・望月奈々子
◎長野県短期大学 中田真寛
◎韮崎高校
飯室光明、清水明日香、穂山貴美、中村遙香
李 済相
◎北杜高校
宮澤さやか、藤原隆乃介、有井晃太郎、篠原啓太

☆体験実習(敬称略)

◎わかば支援学校 八巻香菜子

第32回 地域ふれあい夏祭りを開催しました

天候不順が続く中、この日を待ち遠しく思っている利用者、職員の思いが天に通じ素晴らしい環境で第32回地域ふれあい夏まつりが700名を超える参加者が集い盛大に開催されました。

今年も利用者・職員の華麗な催しをはじめ、ゲストの方々をお迎えし開催することが出来ました。改めて、日頃より信和会の諸活動に対し御理解・御協力頂いております関係各位、地域の皆様にご感謝申し上げます。



実行委員長開会宣言



穴山の里太鼓クラブ



里 合唱クラブ



杜 平成チーム



杜 昭和チーム



屋台や縁日!!
楽しさ満点!!



里 職員チーム



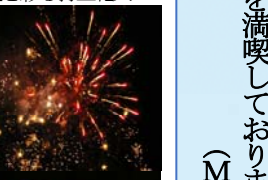
フィナーレはわへく、共同による

勇壮な太鼓と『花は咲く』の全員合唱

そして、夜空を彩る打上花火



ゲストによる演奏・マーチング、職員とのコラボレーションとフラダンス



信和会の庭木が赤く染まり始め柿の木にはオレンジ色に熟した実を見ると「収穫の秋」の訪れを感じます。九月に「わくわく穴山の里」の新築が無事終わり、利用者職員より喜びの声も聞こえ、信和会としても、実り多き秋を迎えております。私事ですが、健康診断では想像を超えて私も総つており、日々の体重管理と「暮の内食べーダイエット」に取組みながら食欲の秋を満喫しております
(M・O)

編集後記